

国立西洋美術館オンライン授業実施案

1 ねらい・背景

- 本格的な美術作品を扱った鑑賞は初めて。プロならどう見るのかという視点を教えていただきたい
- 美術館すら言ったことがない子が多いため、美術館がなぜあるのか、美術作品がどのような影響を与えるのかという話もいただきたい

4 内容

- ディスカッションを含めた絵画の鑑賞
- 児童たちにはチャット機能で自身が発見したことを書き残してもらいつつ、適宜マイクでの発言を促す

5 時程・動き

9:20 接続

↓

9:30 授業開始(5分程度で講師自己紹介)

↓

9:35 ディスカッションを含めた絵画の鑑賞>

児童にはチャット機能で自身が発見したことを書き残してもらいつつ、適宜マイクでの発言を促す

●ウジェーヌ・ブーダン《トルーヴィルの浜》

●クロード・モネ《波立つプールヴィルの海》

※海をきっかけに2つの作品を見比べて鑑賞

※ブーダンとモネの師弟関係、同じ地域での制作活動などを少しだけお話

↓

9:50 国立西洋美術館の基盤となった作品、作品をまもる美術館の仕事

●クロード・モネ《睡蓮》

※モネ作品⇒松方幸次郎のコレクション活動

●オーギュスト・ロダン《地獄の門》

※松方が直接注文したとされるロダンの彫刻と関連作品

※屋外作品を例に作品の維持⇒美術館の仕事へ

↓

10:05 まとめ：国立西洋美術館概要

↓

10:10 まとめ：児童たちからのまとめの感想共有

↓

10:15 授業終了

● その他

➤ 機材

☆ 児童はヘッドフォン装着のもと各自の端末でZOOM入室

☆ 個別端末不調時は、教員PCより教室モニターで受講

➤ 児童との双方向性

- ✧ 基本チャットにて児童の意見を促す
- ✧ 気になる意見があれば講師より児童へ発言を促し、マイクオンにて対話を行う
(適宜先生からのマイクオンオフサポート)
- ✧ 個別端末不調時は教室モニターで実施のため、作品紹介後感想を発表する時間を取り、対話者に前に出てきてもらい双方向の会話を行う
- 授業資料に関して
 - ✧ 紹介する作品の簡単な情報は収蔵品検索で確認可能
 - ✧ https://collection.nmwa.go.jp/artizeweb/search_l_top.php